

学校名 西之表市立安納小学校

項 目	活動内容等
1 活動内容等	<p>朝のボランティア活動では全校で環境美化の課題意識をもち、みんなで協力して作業を進めている。具体的には、県道側の擁壁等の花の植え替えや手入れを定期的に全校体制で行っている。サトウキビについても、植え付けから収穫、サトウスメにするまで、保護者、地域の方も一緒になって取り組むとともに、バガスを使った卒業証書、修了証書も作成し、環境についても考える機会としている。</p>
2 活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝のボランティア活動 ○ 学校外県道側擁壁の整備 ○ 6、10月植え替え（グリーンタイム等） ○ ふれあい花園（6月、10月） ○ 美化活動（1月） ○ ハイビスカスロードの整備（5月、9月、3月） ○ サトウキビ植え付け（4月：5・6年生、総合） ○ サトウキビの学習（11月：全校、創意） ○ バガスの紙すき体験（12月：5・6年、総合） ○ サトウスメ（2月：全校、校区合同）
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ○ グリーンタイム ○ 朝のボランティア活動 ○ サトウキビ栽培 ○ ふれあい花園
③ 月間又は年間活動回数	<ul style="list-style-type: none"> ○ グリーンタイム（毎週木曜日：作業時） ○ 朝のボランティア活動（毎週月、水：始業前） ○ ハイビスカスロードの整備（年3回） ○ サトウキビ栽培（授業時間：総合、創意） ○ ふれあい花園、除草、花植え（朝の活動）

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校外県道側擁壁 ○ ハイビスカスロードの整備 (学校裏門～教職員住宅) ○ サトウキビ農場 (校内) ○ ふれあい花園 (一口商店近く)
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	15名
⑥ 活動1回当たりの平均時間	20分
⑦ 収集物の処理	草刈りの際は校内にまとめている。愛校作業等で校区内の処理場に持って行く。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	環境美化の課題意識をもたせながら、自分たちで活動ができるように上級生を中心としながら、全校体制で取り組んでいる。5・6年生のバガスを使った和紙作り(卒業証書製作等)は、20年以上続く本校独自の活動である。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	学校内外について、年間を通してきれいな環境を整えている。また、学校から教職員住宅までの約300m区間にハイビスカスやアジサイを植え、維持管理をPTAで協力して行っている。校区ふれあい花園についても花のある環境を作っている。
② 地域住民との協力活動	校区役員、PTAのOB等連携して校内の美化活動に協力していただいている。愛校作業では、除草や高木の伐採作業等、隅々まで配慮してもらい、環境を整えている。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	擁壁は校内に入らなくても車道から見えるため、年間を通してきれいな環境を整えている。グリーンタイム等全員で除草等を行い、地域の方々からも我が町の学校として愛され、とても大事にされている。過疎化、児童数減少等もあり、地域の方々の学校に対する期待はとても大きく、子供たちの活躍等が地域の元気の源になっている。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	擁壁の整備、サトウキビ栽培等は植えてから収穫まで行うので、生命尊重について考える機会となっている。また、サトウキビの学習において、和紙作りを行う過程において、植物から紙ができることで環境についても考える機会となっている。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	環境美化の課題意識が高まってきている。また擁壁、花園等の整備から灌水、除草、収穫等まで行うことにより、生命を大切にし、感謝の気持ちをもつことにつながっている。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国土の自然とともに生きる（6年社会） ○ 守っていこう、種子島の豊かな環境 （5、6年総合） <ul style="list-style-type: none"> ・ 安納海岸に見られる生物の種類 ・ 海岸のゴミの種類や量
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか	受賞歴なし
(6) 校内外活動のための時間の作り方	グリーンタイム等校時表の中に緑化活動の時間を割り振っている。また、除草等活動が必要な時期においては、不定期に行うこともある。植物の成長の度合いも見ながら、授業の進捗状況を調整して行っている。
3 その他特記事項	特記事項なし

環境美化活動状況

西之表市立安納小学校

1 朝のボランティア活動(毎週月、水曜：全児童)

朝のボランティア活動として、主に校庭周辺、いこいの森、あそびの森の掃掃を行っている。1～6年生2グループを編成し、上級生が下級生に優しく声をかけながら、みんなで協力して作業を進めている。



2 学校外県道側擁壁の整備

(1) 夏の花植え(6月：グリーンタイム：全学年)

県道側の擁壁の花の植え替え活動は年2回、グリーンタイム等の時間に実施している。

技師が植え方や世話の仕方について説明し、子供たちは苗植えや水かけ、苗用ポットの片付けなどにも進んで取り組む姿が見られた。

また、灌水や草取りなどの世話については、朝のボランティア活動時を中心に行っている。



- (2) 秋の花植え(10月：グリーンタイム：全学年)
グリーンタイムの中で擁壁の苗植えを実施した。



- 3 ふれあい花園、除草、花植え
一口商店近くのふれあい花園の除草、花植えを夏と春の2回行っている。



- 4 美化活動(1月：学校行事、全学年)
お正月の門松の撤去と校庭周辺の清掃活動を全校で実施している。





5 ハイビスカスロードの整備

愛校作業(5月、9月、3月)の時に学校から教職員住宅までの区間のハイビスカス、あじさいの整備を行っている。



6 サトウキビの学習

(1) サトウキビを育てよう(4月：総合的な学習の時間：5、6年)

地域の食について学ぶことを目的に総合的な学習の時間で計画している農業体験学習がある。サトウキビ、安納芋は地域の特産品として毎年、保護者、地域の方々の協力ももらい、実施している。





(2) サトウキビの授業(11月：全学年、創意の時間)

校区内にある農業技術研究所より講師を招き、サトウキビの学習を行った。サトウキビはどのようにして育ち、どのように活用されるのか、とても分かりやすく教えていただいた。実際に収穫したばかりのサトウキビを食べ、固さや甘さを体験することができた。



(3) バガスを使った和紙作り(卒業・修了証書作り：12月：5、6年：総合)

バガス（サトウキビの絞りかす）を使って卒業証書、修了証書を作っている。バガスを沸騰させ、薬品等を使って柔らかくした後、紙すきを行い、和紙を製作した。その和紙は、卒業証書、修了証書に使用している。



(4) サトウキビの収穫(2月：5, 6年：総合的な学習の時間)

保護者に協力にさせていただき、サトウキビの収穫を行った。収穫したサトウキビを使って、校区の青少年育成活動でサトウスメ(黒糖作り)を行った。



(5) サトウスメ(黒糖作り)(2月：全学年：校区青少年活動)

校区青少年活動の一つとして毎年、本校で収穫したサトウキビを使ってサトウスメ(黒糖作り)を行っている。サトウキビを搾った汁を煮詰めていくとあまみ香りが漂い、最後は空気を入れるためによくかき混ぜて、素朴な味の黒糖ができあがる。子供たちは冬の種子島の味覚を楽しむことができた。



(6) バガス(サトウキビの絞りかす)を使った卒業証書、修了証書

12月にバガスで作った和紙で6年生には卒業証書、留学生に対しては修了証書を作成している。安納の自然や支えてくれる人たちの思いが詰まった証書を送っている。

